敵は人面獸だ　ベルリン防衛部隊の訓練

米の〝盲爆指揮官〟登場

宣傳狙つて僞英雄ドウリットル

ベルリン市民ひとくびもとせぬ

【ベルリン十五日發】反樞軸軍のベルリン白晝爆撃が續いてゐるが、欧洲侵攻作戰の準備であるのは最早疑ひはあるまい、二月二十一日から開始された米空軍を先頭にする反攻はドイツ航空戰力の消耗を狙ひ戰爆連合の**大空襲**を續けてドイツの飛行機生産力を破壊し、同時に邀撃するドイツ空軍をも撃砕しようといふにあり、こゝでも上陸作戰の前に制空權を握らうと焦つてゐる、ではその實績はどんなものか、米英空軍の空威ぶりを見るとボーイングB17、リベレーター（コンソリデーテツド）B24の爆撃機編隊を中心にムスタグ、ライトニング、サンダーボルトなどの長距離戰闘機を繰りだし、七―九千メートルの高空から侵入するがこれを邀へ撃つドイツ側もMEI一〇九の新鋭戰闘機のほかにロケツト砲を裝置した同一一〇型驅逐機をもつて激烈な空中戰を展開してゐる、さて彼我の損失を較べると二月二十一日から三月七日まで七回の空中戰で米英は綜計八百二十一機を失ひ、そのうち六百九十二機が四発重爆といひ、空襲一回平均の損失率は六割二分を超えるといふから大きい

ドイツ側の損失は機体の損失が五分以下、乘員の損失は僅か一分二厘弱に過ぎないといひ敵が企圖する航空兵力消耗は成功してゐない、また晝間空襲は飛行機工場、飛行場などに對する精密爆撃を行ふためだといつてゐるがこれまでの成績をみると夜間と同樣、相變らずの盲爆で、敵側が受入れ側の誠意はどうであるか？疎開當の大きな惱みは家であるが疎開者ばかりが防衛戰勞率先者ではなく受入れ側の家主も同樣でなければならぬが兎角誠意を缺く者があることは遺憾とされてゐる、以下東海四縣の受入れ側の熱意を打診してみる

野菜畑まで用意

東海四縣　疎開へ力强い手

愛知縣　縣に疎開實行本部があり各區に相談所を設けて地方事務所や市町村役場と連絡してゐるが一般の熱意に反して家主側は案外冷淡で各區では反省を促してゐるが、なほ開かねば最後の〝斷〟をもつて臨む方針である

△岡崎　轉廢業による店舗倉庫五十戸を百世帶位に改裝、料理店、置屋百五十戸に呼びかける一方家屋六十四戸を七月末までに新築する、額田地方で寺院の開放も計畫中

△春日井市　十四日までに百五十一世帶を受入れた、なほ一千戸の受入れに大童である

△その他　横須賀町や八名郡方面も疎開者を歡迎、配給も優先的にと温い用意を整へ八名では野菜畑も用意してゐる

三重縣　別莊、寺院、教會の提供を折衝、現在三百三十九世帶を受入れた、疎開者の家財運搬には勤勞奉仕をもやつてゐる

岐阜縣　縣に疎開本部、各區に相談所を設け關係方面と連絡レ既に相當の轉入者があり、食糧配給や家庭的問題までも至れり盡せりの配慮をしてゐる

靜岡縣　縣警防課に疎開者受入對策本部（仮稱）を設け、別莊、倉庫、轉業者の家も調査中である

半島から娘部隊

增産支援に富山縣へ

富山縣では生産工場における勞務對策の一方途として半島娘を未經驗工として縣下工場へ振り向けるべく厚生省へ交涉の結果、朝鮮總督府の斡旋を得たので今春四月下旬頃內地諸工場へ半島娘一〇〇名の勤勞報國隊が縣下一〇〇工場へ集團入所することに決つた、これは全國でも初めてのことであり縣では工場當局と協力して勞務管理に萬全を期する

平安神宮鎭座五十年祭

實際大社平安神宮御鎭座五十年祭は十五日午前十時半同神宮にて富相代理折田京都事務所長以下一千余名參列して嚴肅に執行され同十一時閉式した

兵器に器具を總動員

廿日から科學技術者登錄

わが生産力の一切を各種科學兵器の增產に集中し急速に戰力を擴充させるためにはその中心となる科學技術者を嚴密な連絡のもとに配置し、十二分の能力を發揮させることが必要であるが、そのためにはどうしても皇國技術者はどのやうな狀態であるかを調べることが先決問題だ、そこで國民職業能力申告令により科學技術者登錄が二十日から月末まで實施される、各人二通宛の申告書のうち一通は厚生省に、あと一通は技術院が保管し技術院ではこれを專門別、其他に分類し重要部面への適性配置や戰時研究員の任命など有力な基礎資料とするもので、申告を要するものは二月二十一日厚生大臣が指定した各大學、專門學校の工科、理科、農科、心理學科を專修卒業した者又はこれらと同等以上の學力ある者で、國民登錄の場合のやうに年齡の制限もなく女子でも配偶者の有無などの除外制限はない、從つて現在科學技術に關係のない職業に從事してゐる場合でも申告が必要だが軍人、應召中の者、軍屬、陸海軍學生生徒、醫師、齒科醫師、藥劑師、獸醫師、船員及び禁治產者などは除外されてゐる、戰ふ國々のうちドイツは實施してゐないがナチス技術聯盟が代役を務めてをり、ソ聯も登錄はないが學士會のやうな團體が積極的に活動し、イギリスは一九三九年から行つてゐる、米國は一九四〇年に五ケ月かゝつて完成したが登錄者は約十五萬人といふ

應徵者は心配無用方面委員が家族を援護

愛知縣では方面委員を動員して應徵戰士の家族援護を行ふことになり、これが事務心得を作つた、今後は方面委員も一役買ひ應召軍人の家族同樣一切の世話をする

銀行員も採炭に派遣

愛知縣勞務報國隊指導本部では二十五日から二ケ月間名古屋市內の銀行員、無盡會社員などの職域隊百八十五名を選び採炭報國隊として九州へ派遣する

兵器に總動員を智

廿日から科學技術者登錄

（前掲）

魂のある製品を

熔接は外觀だけでは判らぬ

青山梅二郎君　大同製鋼○○工場

段取よく物を運んで增產の能率を高める起重機の生命を掌るのが「玉掛け」の役目だ、青山君は運轉士紺野盛三君と名取組で大會にはピツタリ呼吸の合つた二人でがんばるわけだ玉掛けの値打ちは目測で物の重量を知ると運搬物の緩急性を見拔くことである、これをうまく運んで行くには工場內全般の作業狀況に常に氣をくばりその段取を知つてゐないといけない、玉掛けの名手となる途もなかく樂でない

青山君は約十年前養成工で入所ずつと鐵道の方で勵いた腕が現在の玉掛けにますく〳〵働力を發揮してゐる【寫眞は青山君】

八木一太郎君　日本車輛○○工場

中京酌業を出たが幼い時から機械が好きなあまり事務員になることを好まず熔接見習として工場に飛込んだ、無口な青年で常に默々として技術を磨き先輩をぐんぐん凌いで行つた、熔接の出來不出來は外觀では判らずそれかといつて全製品にいちいちX線檢査をするのも煩雜だから「あの男のした仕事なら檢査せずとも大丈夫」といつた域にまで達せねば眞の增產戰士といへない、それには技術を練ると共に仕事に全魂を打込まぬといけない、魂のこもつてゐない製品では勝拔く飛行機や軍艦が決して造れないのだ、熔接技能修錬の要點として繼目がオーバラップ（重なり）しないこと、電流調節が自在に出來るやう練習することの二つを八木君は强調してゐる【寫眞は八木君】

運搬物の緩急を知る事だ

現場の尖兵

八木一太郎君　日本車輛○○工場

中京酌業を出たが幼い時から機械が好きなあまり事務員になることを好まず熔接見習として工場に飛込んだ、無口な青年で常に默々として技術を磨き先輩をぐんぐん凌いで行つた、熔接の出來不出來は外觀では判らずそれかといつて全製品にいちいちX線檢査をするのも煩雜だから「あの男のした仕事なら檢査せずとも大丈夫」といつた域にまで達せねば眞の增產戰士といへない、それには技術を練ると共に仕事に全魂を打込まぬといけない、魂のこもつてゐない製品では勝拔く飛行機や軍艦が決して造れないのだ、熔接技能修錬の要點として繼目がオーバラップ（重なり）しないこと、電流調節が自在に出來るやう練習することの二つを八木君は强調してゐる【寫眞は八木君】

青山梅二郎君　大同製鋼○○工場

段取よく物を運んで增產の能率を高める起重機の生命を掌るのが「玉掛け」の役目だ、青山君は運轉士紺野盛三君と名取組で大會にはピツタリ呼吸の合つた二人でがんばるわけだ玉掛けの値打ちは目測で物の重量を知ると運搬物の緩急性を見拔くことである、これをうまく運んで行くには工場內全般の作業狀況に常に氣をくばりその段取を知つてゐないといけない、玉掛けの名手となる途もなかく樂でない

青山君は約十年前養成工で入所ずつと鐵道の方で勵いた腕が現在の玉掛けにますく〳〵働力を發揮してゐる【寫眞は青山君】

郷家だより

岐阜　職場で卒業式＝高山實踐女學校は十八日卒業式を擧行したが、○○鑛山に働く挺身隊員○名は職場で卒業式を行ふことになり當日選勝數讀が出向いた

長野　海のない信州の男子に海洋知識と鍛成の具体案もこのほどなり、岡谷市下浜區元山十製糸社長小口今朝吉氏の邸宅を利用し四月ごろから鍛成をはじめる模樣

富山　縣では甘藷、馬鈴薯、南瓜などを今夏はうんと作つて工場の夜食に振り向けようと今からはりきつてゐる

滋賀　東浅井郡大郷村の藤田桃代さん(三)細江潛代さん(三)は出征勇士の〝銃後を頼みます〟の聲に励まされて役場を訪れ挺身隊參加を願、十五日職場へ向つた

京都　京都市中京區南三坊大宮町一三七小川平太郎さんの居宅は二百六十年も昔の慶長年間の古建築で防火施設が滿点といふので近く國寶編入を申請する

愛知　知多郡內海町岡部の大岩重太郎さん(三)は一株の目方二貫余、長さ三尺八寸余の大葉を作つた【寫眞は大葉を抱いて喜ぶ重太郎さん】

濱職事件の判決言渡し

昨年十二月以來東京刑事地方裁判所で審理中の日銀、大藏關係及び製鐵事業許可申請などの濱職事件判決は十五日言渡あつた▲收賄側　懲役二年六月（未決三百日通算）追徵金一万六千七百七円十六錢、元日銀書記武野鐵次（五一）△同六月（二年執行猶豫）追徵金九百円、元大藏屬高柳信雄（四三）△同一年（二年執行猶豫）追徵金一万二千二百二十円、元企畫院技師兒玉晋匡（五七）▲贈賄側　懲役二年（未決百五十日通算）會社員脇欣雄（四三）の他十四名は罰金三百円乃至百五十円

松井副領事　北京日本總領事館副領事經濟課長松井巍天氏（岐阜縣出身）は發疹チフスのため十三日逝去、十四日總領事館葬を執行

伊藤主罷夫人あす告別式　本社事務取締役主罷伊藤正德氏夫人あい子さんの告別式は十七日午後一時から二時まで東京都品川區大井金子町五八五七の自宅で佛式により行はれる

ラジオ

朝　五・四〇　產業戰士の方へ、報道「有畜農業と增產」田中武男△七・二〇「戰ふ生活と消費」翼贊會國民運動局長藤井　九・四五　戰時保育所の時間「ドウブツエン」有馬タツエ△一一・〇〇　五年生の時間「五十鈴の清流」横田橋郎

晝　〇・二〇　職場の歌「心の故郷」外、長門美保△〇・三〇　大阪製鋼より中繼―浪花節「紀州名物破れ太鼓」京山幸枝△一・〇〇　座談會「郵便局の窓口から」横田作次、七條房枝ほか△一・三〇　擂鉢所の時間「尺八の味ひ方と吹き方」㊂吉田晴風、朗讀「聲樂獨唱」北沢彪

夜　六・〇〇　少國民の時間劇「戰ふ通信」吉田拓二ほか△六・三〇　【名、大、福】合唱と管絃樂「日本の足音」ほか名古屋子供唱歌隊ほか【東、金、富、靜、浜】「戰爭と耳」理化學研究所員田口瀬三郎、愛國詩△七・〇〇　朗讀「二宮尊德報德記」汐見洋△七・四〇　石炭輸送戰士（錄音）物語「宮本武藏」鐘川夢聲、箏曲「數へ歌變奏曲」衞藤君代ほか

點

投稿歡迎▽官製はがき使用百五十字迄▽宛名中部日本新聞編輯局戰時版「点」係

戰時輸送をさまたげる不急の旅行を愼めさせることになつたのは當然である、戰場戰士の通勤時間にも買出し部隊などが相當目內にまぎれこんでゐるがこれを機會に嚴重に取締り增產のため輸送の円滑を期して貰ひたい（佐藤生）

天狗倒し

斬つて！斬つて！斬りまくる天狗！

京映　納屋橋映劇　十六日より

造ぞる　撃つぞ　勝抜くぞ

佐分利信　京マチ子　桃園かぐや　澤村國太郎　尾上菊太郎　酒井猛　細川俊夫　桑野通子

大井廣介　原作　佛演出　上金次郎　演出

御覽になりましたか是非もう一度　爆風と彈片

大須劇場　帝國館

あの旗を撃て

十六日封切！

大東亞十億必見の映畫巨篇！諸君の前に！感激を誓つた首に鐵鎖！サンバギタの花を血に染める比島兵！

最前線の比島兵を背後から虐殺したのは誰だ！

陸軍省・後援　比島派遣軍報道部・協力

大河內傳次郎　河津清三郎　月田一郎

名劇　日ノ出館

豊富館　世界館

造ぞる　撃つぞ　勝抜くぞ

愛の暴風

十六日より

波爛万丈の青春巨篇！愛染かつらの野村浩將・演出

上原謙　佐分利信　桑野通子　北見禮子

ネニ洋子一座　間諜七變化　三幕　二六場　四幕　廻り舞台

明日　三ノ替　①勤王烈婦お道傳　②白井八輪

歌舞伎座

大勝館